



認定書を抱え喜ばれる阿南さん夫妻。
現在もお二人で同じ目標を持ち、互いをおもいやりながらマラソンに取り組まれています。

ギネス世界記録に認定！ 最高齢者夫婦フルマラソン完走で阿南さん



波野の阿南重継さん、ミヨ子さんご夫妻が、お二人合わせて161歳という最高年齢でフルマラソンを制限時間内に完走したとして、イギリスの「ギネス・ワールド・レコーズ社」から4月28日付けで認定され、5月7日、「ギネス認定書」が阿南さんご夫妻の手元に届きました。「いぶすき菜の花マラソン」（1月13日開催）で、42.195kmを7時間36分で走った記録が登録されています。重継さんはマラソンを始めた昭和46年間からの走行距離が8万kmを超え、妻ミヨ子さんも職場まで往復12kmを22年間歩いて通勤したという強い精神力と体力をあわせ持ったお二人。今回の世界一認定について「日々の積み重ねが成したものです」と喜びをかみ締められました。



小学生が山で自然学習＆ゴミ拾い



自然保護活動に取り組む財団法人「再春館一本の木」財団（葉玉匡美理事長）が主催した、小学生対象の「阿蘇の草原維持とゴミ除去」が、5月17日、大観峰周辺で行われ、熊本市内や地元の小学生80人が参加しました。財団は次代を担う子どもたちに自然保護への理解と環境を大切にすることを育てたいとこの活動を企画。開会式の後、早速、ミルクロード沿線6kmを「阿蘇の自然を愛護する会」、「阿蘇地区パークボランティア」の皆さんの自然観察の手ほどきを受けながらゴミ拾いを行いました。

昼食後は、体験発表や阿蘇火山博物館の池辺館長による講話があり、大いに自然の大切さ、阿蘇のすばらしさを体感できた一日でした。

車帰区がコミュニティ助成事業で地域活動備品及び車帰堤周辺を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、車帰区が地域活動備品の整備と、主に農業用ため池として利用している車帰堤周辺にヤマザクラやイロハモミジ、シダレザクラ等を植栽しました。



車帰堤

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うもので、今回整備した備品は、地域活動の推進と地区住民の健康増進に役立てられ、また緑化した車帰堤周辺は、憩いの場として活発的に活用していく予定です。



コミュニティ活動の様子